

発行：星城懇話会事務局 〒476-8588 東海市富貴ノ台 2-172 TEL 052-689-6002 / FAX 052-689-6003

梅雨入りが発表された6月21日(金)、令和6年度星城懇話会総会を広小路本町ビルディングの会議室において開催いたしました。

当日は雨上がりの蒸し暑い中、多数の方にご出席いただきありがとうございました。

始めの挨拶では工藤会長より、ご出席の皆さまへ感謝の気持ちが伝えられ、続いて石田名誉会長から、星城大学・高校剣道部師範の東先生が、日本代表男子監督として、イタリアで開催される剣道の世界大会に挑まれるという、嬉しいお知らせがありました。

議事の審議に移り、事務局より各審議事項について説明がありました。

令和5年度事業・決算報告では、地域貢献事業として、医学者・俳人・現代芸術評論家の馬場駿吉氏教育講演会の実施、会員啓発事業として、名古屋市美術館、星城中学校卒業生の佐藤桂菜さんチェロリサイタル、西川流名古屋をどりの鑑賞会の実施、会員相互交流事

令和6年度 星城懇話会 総会



【左：工藤潔会長 右：石田正城名誉会長】

業として、音楽ライブを楽しみながらの会員交流会を開催、学園支援事業として、世界・全国大会に出場した星城大学・高校の学生・生徒を応援するため、激励金等の支給などの報告がされました。

令和6年度事業計画・予算案では、さらなる諸活動の推進、とくに各事業の充実や会員募集と併せ、卒業生の動向調査とその支援に力を入れていきたい、などの提案があり、いずれの議案も全会一致で承認されました。

総会 開催



【総会の様子】

新役員ご紹介

なお、今年度は役員改選の年にあたり、樽本樹邨理事および岡村茂雄監事の退任に伴い、後任として、石田直城氏が新理事に、前野倫太郎氏が新監事に就任されました。総会ではお二人よりご挨拶がありました。



【前野倫太郎新監事】



【石田直城新理事】

また、右記のとおり、工藤会長はじめ理事5名、監事1名の方々が再選されました。

令和6・7年度役員（五十音順敬称略）

会長	工藤 潔	彫刻家 日展特別会員 日本彫刻会運営委員
理事	石黒 大山	東海テレビ放送(株) 相談役
理事	石田 直城	名古屋石田学園 顧問
理事	浦野 廣高	(株)浦野設計 代表取締役社長
理事	谷口 正明	(株)正文館書店 代表取締役会長
理事	西川 千雅	日本舞踊西川流四世家元 日本舞踊家
理事	藤森 兼明	洋画家 日本藝術院会員 日展顧問 光風会理事長
監事	前野 倫太郎	近畿日本ツーリスト(株) 名古屋教育旅行支店 支店長
監事	松本 英孝	日本国土開発(株) 名古屋支店長



会員啓発事業

【集合写真】



【林 昭郎 副館長】

総会終了後、三菱 UFJ 銀行名古屋ビル 1階にある「貨幣・浮世絵ミュージアム」を鑑賞しました。

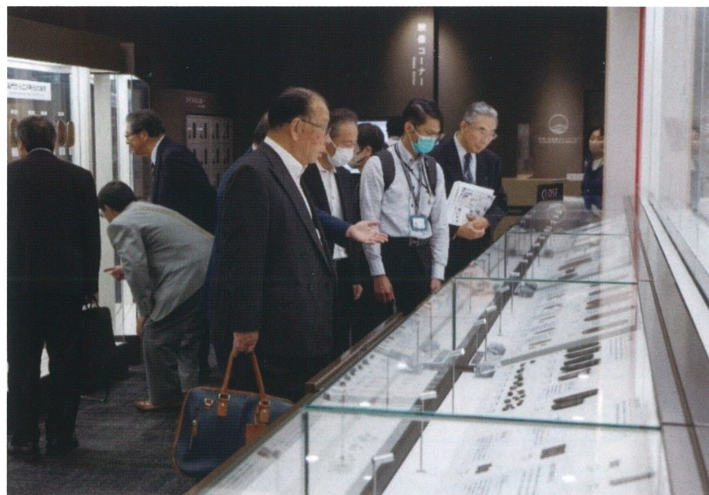
貨幣・浮世絵ミュージアムは、1961年に東海銀行創立20周年記念事業として、貨幣展示室がつけられたのがはじまりです。貨幣15,000点、浮世絵1,800点を所蔵し、民間としては最大の貨幣コレクションを誇ります。

鑑賞に入る前、林副館長よりミュージアムの成り立ち、特色や魅力について説明していただきました。

貨幣展示室では、「和同開珎」をはじめとする金貨、銀貨など日本貨幣が年代順に並び、中でも世界最大の金貨で豊臣秀吉がつくらせたという現存3枚の「天正大判」の

うち1枚が常設展示されていました。ほかにも現存が少ない江戸時代の藩札・版木など貴重なコレクションの数々や、古代中国、ローマの貨幣など、様々な時代や世界各国の珍しい貨幣を間近で見ることができました。

また、歌川広重の浮世絵「東海道五拾三次」が展示された浮世絵展示室では、企画展「Good Job! 旅路の仕事人」が開催中でした。まるで絵画のように色鮮やかな浮世絵からは、街道筋で働く飛脚や川越人足、関所役人、按摩など、仕事人たちの生き生きとした仕事ぶりを感じ取ることができました。



【貨幣がズラリと並び貨幣展示室】

会員の皆さまも、資料を熱心に読んだり、スタッフの方に質問したり、体験・映像コーナーで楽しんだり興味深く鑑賞されていました。

鑑賞を終えられた方から、THE CONDER HOUSEにてお寛ぎいただきました。おいしいケーキとお茶を味わいながらの会話も弾み、束の間の歓談を楽しめました。



【お寛ぎタイム♪】





パリ 2024 オリンピック パブリックビューイング



7月26日(金)開幕、「パリ2024オリンピック」に星城高等学校卒業生の石川祐希選手(49回生・男子バレーボールキャプテン)、深津旭弘選手(41回生・男子バレーボール)、深津貴之さん(42回生・男子バレーボール日本代表チームコーチ)の出場が決まったことを受け、7月27日(土)、卒業生を応援しようと、予選リーグ初戦ドイツ戦のパブリックビューイング(PV)が星城高等学校石田記念館で開催されました。

星城懇話会ではこれまで、星城卒業生のオリンピック出場を応援すべく、現地での応援ツアーを企画するなど、様々なかたちで支援を行ってきましたが、旅費高騰などの諸事情により、今回のパリオリンピックでは、日本からフランス



【熱い声援を送るPV参加者】



へ少しでも多くの声援を届けようとの思いで、星城高等学校同窓会が主催するPVを支援することにいたしました。

PV当日は、星城高等学校の生徒はじめ、保護者、同窓会、学園関係者、星城懇話会会員など200名が熱い声援を送りました。

試合はフルセットにもつれこむ接戦の末、日本は惜しくも敗れましたが、会場からは健闘をたたえる拍手が沸き起こりました。

たくさんの応援ありがとうございました。

【石田記念館ロビーに特別展示された星城高校男子バレー部ゆかりの品々】



剣道部 東良美師範(範士八段) 第19回世界剣道選手権大会 優勝祝賀会

7月21日(日)、イタリアで開催された第19回世界剣道選手権大会で、日本代表チーム男子監督としてチームを優勝に導いた、星城大学・星城高等学校剣道部の東良美(ひがし よしみ)師範の祝賀会が、星城大学で開かれました。

3年に一度開かれる世界大会は、新型コロナウイルスの影響で6年ぶりの開催となりましたが、日本代表男子チームは見事、団体優勝、個人ベスト4独占という優秀な成績を収めました。



【優勝の喜びを語る東師範】

祝賀会には、星城大学、星城高等学校の剣道部員をはじめ、OBや学園関係者など約200名が出席し、全員で世界大会での勝利をお祝いしました。会場では、東師範へ記念品などが贈られ、星城懇話会からも褒賞金を授与させていただきました。



【完全優勝を祝して「乾杯！」】

優勝の弁で東師範は、「6年ぶりの開催ということで、選手も入れ替わり、緊張の中、日の丸を背負って戦ってくれた選手たちが、研究・工夫した技を思い切って出したことが完全優勝につながったと思っています。」と述べられました。

このたびの優勝、誠におめでとうございました。

卒業生の活躍

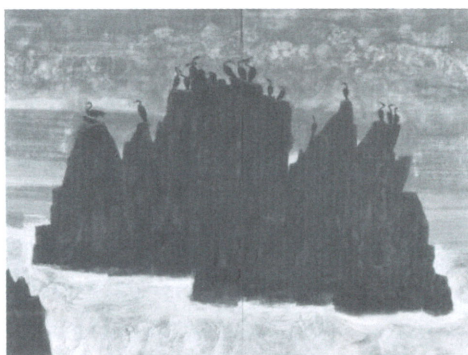
日本画家 ^{すずき よしや} 鈴木 喜家 さん
星城高等学校 1966 年度卒



【鈴木喜家先生 2024 年4月 13 日（土）
個展「日本画作品とスケッチ展」にて】

作品左【第 58 回白土会展（2023）
「北海の海鳥たち」】

作品右【第 51 回白土会展（2015）
「北の岬」】



日本画家である鈴木喜家先生は、白土会会員、母校名古屋造形大学の名誉教授として、現在も白土会展に作品を発表し続け、後身の育成にも力を注がれています。これまで名古屋市芸術賞・奨励賞はじめ多数受賞の実績をお持ちです。

絵を画く基本は写生という鈴木先生は、肌合い、色合いを見て感じることの大切さから、自ら様々な場所へスケッチに足を運び、75 才となった現在も、毎日筆を持つことを欠かさないそうです。

最近では墨の世界に魅力を感じ、2023 年には、下地に墨を塗り、上から白い胡粉を流したことで、厚みのある波を表現されたという岩礁と荒波を描いた自信作「北海の海鳥たち」を白土会展にて発表されました。

鈴木先生の益々のご活躍を祈念しております。

2 月に教育講演会を予定しています。

日時：2025 年 2 月 15 日（土） 14 時～

会場：星城大学 名古屋丸の内キャンパス

講師：奥山景布子氏

＜小説家、文学博士＞

※詳細は改めてご案内します。



新規会員募集中

「名古屋石田学園と一緒に
応援してください！」



「星城懇話会」は、教育・文化・芸術分野において、地域社会と名古屋石田学園との相互交流を深めるとともに、地域社会活性化に貢献することを目的とし、平成 18 年に発足いたしました。以来、地域社会とのコミュニケーション、会員の相互支援・相互協力を図る場として順調に活動を続けてまいりました。

今後も地域社会との連携により一層力を注ぎ、会員の皆さま、会員企業の方々のご活躍及びご発展を目指し、また様々な催しを企画して会員の皆さまに喜んでいただけるよう運営してまいります。

ぜひ、ご興味があるお知り合い、ご友人の方々にご紹介いただきますようお願い申し上げます。

